

患者の皆様・来院される皆様へのごお願い

患者さんが安心して治療を受けられるよう、感染制御部を中心に院内感染対策に取り組んでおります。

病院には感染しやすい方が多くいらっしゃいます。感染しやすくなるような治療も実施されます。私たちも患者さんを感染から守るよう対策をとりますが、患者さんやご家族の方もご協力くださいますようお願いいたします。



1. 入院患者の皆様へ ご協力をお願いいたします

★入院中は、ベッド周囲が患者さんの生活する場になりますが、病室は人の出入りが多く、また、さまざまな処置も行います。職員の清掃がはありますが、ご自身ができる範囲で環境を整えたり、不要なものを持ち込まないようにしてください。

★お食事の前や、病室の出入りの際などに手指衛生（流水で手を洗ったり、アルコール含有手指消毒薬をつかって手をこする）を行ってください。ベッドから動かない場合でもお食事の前には実施して下さいますようお願いいたします。

★病院の中ではお薬がききにくい薬剤耐性菌が問題になることがあります。医療者や器材が仲介してしまう場合もありますが、トイレなどを介して患者さん自身で感染してしまうこともあります。トイレの清掃は行っておりますが、トイレ使用後に手指衛生を怠ると感染してしまうことがあるので、ご注意ください。また、トイレに設置されている便座除菌クリーナーで使用前に便座なども拭くことをおすすめしています。体調の悪い場合は看護師がお手伝いいたします。



★患者さんご自身やご家族の方、医療従事者がインフルエンザなどの感染症を発症することがあります。そのようなときは、病院内の感染拡大を予防する措置として、入院および手術を含めすべての診療行為をしばらくの間、縮小または制限させていただくことがあります。すでに検査・手術の予約が入っている患者さんでも、発生状況によっては、検査・手術の予定を延期させていただき、場合によっては一度退院していただくこともあります。

★同じ病棟の中などで、他の患者さんから薬剤耐性菌が検出されていることがわかったときに、患者さんに感染していないかを確認するための検査をお願いすることがあります。同じお部屋の患者さんがインフルエンザにかかっていることがわかった場合なども予防的にお薬を使ったり、検査をお願いすることがあります。

★感染症の患者さんに個室移動をお願いすることがあります。個室を希望している患者さんが、お部屋がたりなくなって大部屋に入院していただいたり、入院後に大部屋に移動していただくなど、お部屋の移動をお願いすることがあります。

★インフルエンザが全国的に流行しているような時期に、私たち職員全員がマスク着用する時期があります。自分自身が感染しないようにするためだけでなく、発症する直前に患者さんや同僚にうつさないためです。



2. ご家族・ご面会の方へ ご協力をお願いいたします。

★患者さんを感染から守るため、ご家族・ご面会の方も、病室に出入りする際、トイレの後など手指衛生（流水で手を洗ったり、アルコール性手指消毒薬をつかって手をこする）を行ってください。

★小学校就学前のお子様は、患者さんの安静と感染予防のために、面会をご遠慮いただいています。小さなお子様はさまざまな感染症にかかっていることがあったり、ご自身で十分な手指衛生が行えないことがあるためです。

★熱がある、咳・鼻水など風邪症状がある、吐き気がある、下痢しているなどの症状がある方は、患者さんや周囲の人にうつしてしまうこともあります。恐れ入りますが面会をお控えください。

★インフルエンザなどは症状が出てくる前に患者さんにうつすことがあります。冬のインフルエンザが流行している時期は、症状なくてもマスクを着用のうえ面会してください。

★患者さんの中には、古くなった水の中で増える微生物によって、感染症をおこしてしまう方もいます。とくに生花（水替えを含む）、加湿器（水の取り換え含む）には厳重に注意しなければなりません。病棟や患者さんの状況によってはお花の持込みを控えていただいております。ご家族の皆様のご協力をお願いします。

3. 外来患者の皆様へ ご協力をお願いいたします。

★咳やくしゃみがある方は、咳エチケットをお願いします。

